



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス
コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 昌徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 向田 泰久

TEL 075-441-2333

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	14,854	27.6	3,443	53.6	140		187		432	
2019年9月期第3四半期	20,512	29.9	7,417	57.9	5,491	129.7	5,794	122.9	4,218	123.1

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 9百万円 (%) 2019年9月期第3四半期 3,653百万円 (106.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	41.26	
2019年9月期第3四半期	400.43	

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費としています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	27,839	22,940	82.4	2,187.20
2019年9月期	31,415	23,319	74.2	2,224.18

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 22,940百万円 2019年9月期 23,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		35.00	35.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2020年9月期の期末配当予想額につきましては、現時点で未定であります。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,500	20.5	4,890	44.5	0	100.0	0	100.0	290	27.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	11,368,400 株	2019年9月期	11,368,400 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	879,782 株	2019年9月期	883,804 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	10,486,682 株	2019年9月期3Q	10,534,647 株

(注) 2020年9月期3Qの期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数並びに2019年9月期の期末自己株式数、2019年9月期3Qの期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に弱さが残るものの、雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外経済や個人消費が減退し、極めて厳しい状況となりました。

フラットパネルディスプレイ業界におきましては、中国では、渡航制限の継続により、装置搬入や海外技術者の入国が出来ず、新規生産ラインの立ち上げが停滞しました。韓国では、パネルメーカーが、テレビ向け大型液晶パネル事業からの撤退を表明しました。フォトマスク市場につきましては、パネルメーカーの開発減少により、フォトマスク需要が縮小しました。

このような市場環境のもと、当社グループは、市場規模の縮小に加え、競合メーカーとの競争が激化したため、第10世代以上用を中心に大型フォトマスクの受注が大きく減少し、プロダクトミックスが悪化しました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高148億54百万円（前年同期比27.6%減）、E B I T D A 34億43百万円（前年同期比53.6%減）、営業損失1億40百万円（前年同期は営業利益54億91百万円）、経常損失1億87百万円（前年同期は経常利益57億94百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億32百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益42億18百万円）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて35億76百万円減少し278億39百万円となりました。これは主に、現金及び預金や建設仮勘定が減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて31億97百万円減少し48億99百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等、その他流動負債が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億78百万円減少し229億40百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が増加した一方で、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,300,995	6,443,972
受取手形及び売掛金	4,338,393	4,038,025
商品及び製品	40,772	66,715
仕掛品	407,627	287,295
原材料及び貯蔵品	2,037,854	2,259,715
その他	768,112	539,027
貸倒引当金	△1,250	△1,136
流動資産合計	15,892,504	13,633,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,281,541	3,155,077
機械装置及び運搬具（純額）	6,920,710	6,896,917
土地	1,667,702	1,667,702
建設仮勘定	2,347,366	1,309,089
その他（純額）	146,617	201,502
有形固定資産合計	14,363,938	13,230,288
無形固定資産		
ソフトウェア	353,625	293,303
その他	393	1,055
無形固定資産合計	354,018	294,358
投資その他の資産		
その他	932,183	815,205
貸倒引当金	△126,706	△133,638
投資その他の資産合計	805,477	681,566
固定資産合計	15,523,435	14,206,214
資産合計	31,415,939	27,839,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,711,833	3,149,614
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	917,847	16,177
役員賞与引当金	79,474	—
その他	2,577,540	1,096,184
流動負債合計	7,586,694	4,561,977
固定負債		
長期借入金	450,000	225,000
役員株式給付引当金	18,825	30,650
その他	40,773	81,488
固定負債合計	509,598	337,138
負債合計	8,096,292	4,899,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,167,847	4,167,847
利益剰余金	15,908,130	15,098,805
自己株式	△982,922	△976,008
株主資本合計	23,202,778	22,400,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,727	133,575
為替換算調整勘定	△43,859	395,144
繰延ヘッジ損益	—	11,625
その他の包括利益累計額合計	116,868	540,346
純資産合計	23,319,646	22,940,713
負債純資産合計	31,415,939	27,839,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	20,512,307	14,854,181
売上原価	12,888,819	13,336,583
売上総利益	7,623,487	1,517,597
販売費及び一般管理費	2,131,543	1,657,972
営業利益又は営業損失(△)	5,491,943	△140,374
営業外収益		
受取利息	18,304	2,362
不動産賃貸料	22,688	21,811
為替差益	232,923	—
受取保険料	232	8,923
その他	47,050	10,510
営業外収益合計	321,199	43,607
営業外費用		
支払利息	4,384	3,382
不動産賃貸原価	13,264	13,573
為替差損	—	73,350
その他	828	486
営業外費用合計	18,478	90,793
経常利益又は経常損失(△)	5,794,665	△187,560
特別利益		
補助金収入	100,000	—
特別利益合計	100,000	—
特別損失		
固定資産除却損	423	1,462
投資有価証券評価損	—	26,416
関係会社整理損	57,068	—
特別損失合計	57,491	27,878
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,837,173	△215,439
法人税、住民税及び事業税	1,668,298	169,141
法人税等調整額	△127,354	69,180
法人税等還付税額	—	△21,120
法人税等合計	1,540,944	217,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,296,229	△432,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	77,841	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,218,387	△432,640

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,296,229	△432,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,939	△27,152
為替換算調整勘定	△571,129	439,004
繰延ヘッジ損益	—	11,625
その他の包括利益合計	△643,069	423,478
四半期包括利益	3,653,159	△9,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,612,118	△9,162
非支配株主に係る四半期包括利益	41,040	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険料」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた47,283千円は、「受取保険料」232千円、「その他」47,050千円として組替えております。

(会計上の見積り)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を反映した今後の業績見通し及び将来収益力等を勘案した結果、当第3四半期連結累計期間においても引き続き繰延税金資産を計上しております。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、2021年中にかけて徐々に収束し回復に向かうと仮定し、上記の見積りを行っております。